

# 特定調達品目候補群一覧表(資材)

提案品目名及び提案品目の概要は提案資料から抜粋したものです。

統合品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
空調用機器	水和物スラリー蓄熱空調システム	水和物スラリー蓄熱空調システムは空調温度域5～9℃において潜熱を蓄えられる潜熱蓄熱材(水和物スラリー)を用いた空調システムである。水和物スラリーは冷水の2倍程度の熱密度を有するので、蓄熱量の増大が可能である。また、流動性に優れているため、水と同様に空調機器に直接搬送することも可能である。	蓄熱方式を有しない(非蓄熱)空調システム(セントラルシステム)。	Q(C)	○本品目については、統合品目「空調用機器」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①実際の運転状況下における品質の確認が未了であるため、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
鉄鋼スラグブロック	鉄鋼スラグ水和固化体	鉄鋼業から副生成される鉄鋼スラグを主な材料とする。主な結合材に高炉水砕スラグを微粉砕して製造される高炉スラグ微粉末、骨材に製鋼スラグ、必要に応じて混和材にフライアッシュ等を用い、水和反応によって硬化した固化体である。コンクリートと同様に練混ぜ・打込み・養生することにより製造される。主な用途は、消波ブロック、被覆ブロック等の異形ブロック、根固方塊、捨ブロック、上部コンクリート等のコンクリート代替、および捨石代替材の港湾土木材料である。また、コンクリート舗装代替品としても使用できる。	コンクリートブロック、コンクリート二次成型品	E(O)	○本品目については、統合品目「鉄鋼スラグブロック」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・採取段階におけるCO2削減効果が不明 ・生物多様性への寄与が期待されるが、周囲の環境条件による。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
スラッジを用いた路盤材	特殊固化剤を用いて再生した骨材、クラッシャーラン	汚泥(無機性汚泥)、燃えがら(石炭灰含む)、ばいじん、鉱さい、コンクリート、ガラスくず及び陶磁器くず類などを特殊固化剤とセメントで固化を行った再生骨材、及び再生クラッシャーラン。	天然骨材を用いた路盤材	EQSC	○本品目については、統合品目「スラッジを用いた路盤材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・スラッジ状廃棄物の削減が期待されるが、その削減効果が不明確。 ・使用段階における環境安全性の確認が必要。 ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ③特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 ④比較対象品と比べてコストが高いと考えられる。
建築用塗料	断熱塗料	中空セラミックビーズと酸化チタンをアクリルシリコン樹脂に添加した塗料である。通常の塗料を塗布する方法で施工するもので、一般的な断熱材の概念を超えた、断熱・遮熱・防音・防露など12個の驚異的な機能を持つ材料である。富士教育訓練センター(職業訓練法人 全国産業教育訓練協会)では、塗布式仕上げ断熱材施工として、正式にカリキュラムに組み込まれているものである。住宅や工場で使用し外部に塗布する事により、夏場の空調費を30%以上削減させたり、また、北海道で冬場内装に塗布しただけで、冬場の空調稼働率70%減と、蛍光灯の明かりを30%削減させた実績もある。他に、話し声が6～8デシベル軽減や熱エネルギーの反射という理論で結露防止などあらゆる場面で、省エネに有効な製品である。平成17年2月に、JXAXと知的財産利用許諾契約を結び更なる分野での使用が可能となる。	グラスウール	EQS(C)	○本品目については、統合品目「建築用塗料」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ③特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
ペーパースラッジを用いた土質改良材	FTマッドキラー工法	製紙工場から排出されるペーパースラッジ灰を再焼成、混合(混和材)、造粒、粒度調整、乾燥等の処理を施すことで製造した泥土改良材を用いて、軟弱な建設発生土(泥土)を瞬時に改良し、建設工事への転用を可能とする工法である。本工法の特徴は、以下のとおりである。1)吸水効果を主体とする改良である。2)養生時間なしに、瞬時に泥土を改良させ、改良土を建設工事へ転用させることができる。3)粘性土、砂質土、腐植土等すべての土質に対応可能である。4)改良土は、中性域であり、周辺の生態系(動、植物)にやさしい改良である。	セメント系固化材、石灰系固化材、高分子改良材	EQS(O)	○本品目については、統合品目「ペーパースラッジを用いた土質改良材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・廃棄物削減量の見通しが不明確 ・再リサイクル性の確認が必要 ・使用段階における有害物質の溶出可能性の確認が必要 ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ③特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
有害金属を含有しない錆安定化処理塗料	有機金属及び安定化処理用塗料	提案する有機金属及び安定化処理用塗料は有害な重金属(鉛、亜鉛、クロムなど)を一切含まず、環境に負荷を与えない伝導性ポリマーを主成分とし、溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材(SMA材)及び、耐候性鋼材(SPA材)の金属表面に作用し、早期に酸化被膜(安定さび)の確実な形成を促進させ、耐候性鋼材の耐食性を高めるさび安定化処理用塗料である。	在来型の耐候性鋼材及び安定化処理用塗料	QS(C)	○本品目については、統合品目「有害金属を含有しない錆安定化処理塗料」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ②特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。

# 特定調達品目候補群一覧表(資材)

提案品目名及び提案品目の概要は提案資料から抜粋したものです。

統成品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
有害金属を含有しない重防食下塗塗料	重防食さび止め用下塗り塗料(有機金属不動態化塗料)	提案する重防食さび止め用下塗り塗料(有機金属不動態化塗料)は有害な重金属(鉛、亜鉛、クロムなど)を一切含まず、有害重金属の流出による人体への悪影響や周辺環境の土壌汚染や水質汚染を引き起こさない。またあらゆる金属表面に作用し、その表面電位を貴金属レベルに移行させ防食する。また金属表面に不動態化層を形成させることにより防錆特性を高め、施設の持続性を大幅に延長させるさび止め塗料。	防食用下塗り塗料(JISK5552・JISK5623・JISK5625・JISK5627・JISK5629)	Q(C)	○本品目については、統成品目「有害金属を含有しない重防食下塗塗料」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
ペーパースラッジを用いた土質改良材	埋め戻し用、敷き固め用、の土質改良材	池、湖沼、河川、建築現場等から排出される泥土、軟弱土、残土の有効利用をめざし、また世界的リサイクルプランのなかでの建設残土、汚泥、湖沼、ダム汚泥の有効利用することにより、処分場の節約、寿命をのばせることができます。またこの固化材の成分は製紙(ペーパー)スラッジ焼却灰と石灰炭、リサイクル石膏等が主成分であり、この固化材【かたつむり、もしくはハーデン、スリーアール名】そのものがリサイクル製品であります。	セメント系固化工材、石灰系固化工材、高分子改良剤	EQS(C)	○本品目については、統成品目「ペーパースラッジを用いた土質改良材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・廃棄物削減量の見通しが不明確 ・再リサイクル性の確認が必要 ・使用段階における有害物質の溶出可能性の確認が必要 ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ③特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
天然繊維を用いたドレーン材	天然繊維を用いたドレーン材	軟弱地盤の圧密沈下促進工法である鉛直ドレーン工法において、軟弱地盤中に鉛直に打設し、軟弱地盤中の水分の排水を促進するドレーン材に天然繊維製(黄麻の繊維とヤシの木の殻の外皮繊維を撚ったヤシロープ)の材料を用いるものである。また水平排水ドレーン材料として、近年ではサンドマット(地上水平排水砂材)の代替品として水平天然繊維ドレーンが使用されている。	①サンドドレーン、バックドレーン等の砂材ドレーン ②プラスチック(化学繊維)ドレーン	E(C)	○本品目については、統成品目「天然繊維を用いたドレーン材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・化学繊維を使用しないことによるエネルギーの削減量の見通しが不明確。 ・最終的に腐食土と同化することの評価方法の確認が必要。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
ペーパースラッジを用いた土質改良材	マッドクリーン	マッドクリーンは、ペーパースラッジ(製紙焼却灰)を利用した中性土壌固化工材です。含水汚泥や不良土に混合攪拌すると急速に水分を吸収し、水和反応およびボゾラン反応によりエトリンガイトが生成され、団粒化を促進します。これにより建設汚泥や浚渫汚泥等の不良土を透水性に優れた泥濘しない良質土に変換することができ、転圧することにより地盤に強度を与えることもできます。また、環境や人体に対して有害な物質は一切含まずpHも中性なので、環境負荷を増大させることもありません。	セメント系固化工材、石灰系固化工材、高分子改良剤	EQS(C)	○本品目については、統成品目「ペーパースラッジを用いた土質改良材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・廃棄物削減量の見通しが不明確 ・再リサイクル性の確認が必要 ・使用段階における有害物質の溶出可能性の確認が必要 ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ③特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
天然材料を用いた植生マット・シート	ワラ付人工張芝 [当社対応製品 ロンケットワラ28]	種子・肥料を装着した紙に、リサイクル資材であるワラコモを重ねた緑化資材。巾1mのロール状で、法肩から法尻に転がして展開し、ピンで留めて施工する。施工後、種子・肥料が地面に落ちて発芽し、法面を緑化する。ワラコモは被覆材として非常に有効で、浸食防止効果、保温効果、保水効果を持ち、植物の発芽・生育を保護する。	天然材料を使用しない植生マット・シート	EQ(C)	○本品目については、統成品目「天然材料を用いた植生マット・シート」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・運搬段階におけるCO2排出量についての確認が必要 ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
天然材料を用いた植生マット・シート	ワラ付人工張芝(分解型) [当社対応商品 ロンケットデアグリーン]	種子・肥料を装着した紙に、リサイクル資材であるワラコモを重ねた緑化資材。巾1mのロール状で、法肩から法尻に転がして展開し、ピンで留めて施工する。施工後、種子・肥料が地面に落ちて発芽し、法面を緑化する。ワラコモは被覆材として非常に有効で、浸食防止効果、保温効果、保水効果を持ち、植物の発芽・生育を保護する。	天然材料を使用しない植生マット・シート	EQ(C)	○本品目については、統成品目「天然材料を用いた植生マット・シート」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・運搬段階におけるCO2排出量についての確認が必要 ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。

# 特定調達品目候補群一覧表(資材)

提案品目名及び提案品目の概要は提案資料から抜粋したものです。

統成品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
天然材料を用いた植生マット・シート	ワラ付植生シート(完全自然分解型) [当社対応製品 ロンケットオーガ]	種子・肥料を装着した紙に、リサイクル資材であるワラコモ、ジュートネットを重ねた緑化資材。巾1mのロール状で、法肩から法尻に転がして展開し、ピンで留めて施工する。施工後、種子・肥料が地面に落ちて発芽し、法面を緑化する。ワラコモは被覆材として非常に有効で、浸食防止効果、保温効果、保水効果を持ち、植物の発芽・生育を保護する。	天然材料を使用しない植生マット・シート	EQ(C)	○本品目については、統成品目「天然材料を用いた植生マット・シート」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・運搬段階におけるCO2排出量についての確認が必要 ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
廃タイヤカーボンを用いたコンクリート用混和材	廃タイヤリサイクルコンクリート添加剤(廃タイヤカーボン)	使用済みタイヤを発電用燃料として使用し、その焼却残渣から回収された微粉カーボンをコンクリート添加剤として利用する。	コンクリート着色添加剤(黒色)	E(C)	○本品目については、統成品目「廃タイヤカーボンを用いたコンクリート用混和材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・廃棄物削減量の見通しが不明確 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。 ○なお、本品目については、タイヤ焼却残渣の発生抑制との比較も含め、平成19年度に環境負荷低減効果を再度検討することを予定しております。
再生プラスチックを利用した建材	再生プラスチック(PP)製デッキ材	廃プラスチックのうち、主にPP(ポリプロピレン)・PE(ポリエチレン)を主材料として再生したデッキ材。廃プラスチックを破碎しブレンド・計量の加熱溶融し押出成型したもの。屋外のデッキ材等で使用。除却の際にもリサイクルが可能な循環型商品。	樹脂製(プラスチック)デッキ材	E(C)	○本品目については、統成品目「再生プラスチックを利用した建材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
再生材料を用いた型枠	マムエコボードNを使ったコンクリート型枠工法	再生古紙(堰板構造に100%のダンボール再生古紙にて製造)を用いた循環型建設仮設資材。建設土木現場にて木製合板製型枠と同様の加工性能をもち、数回転用後、使用不可能な時点(木製合板型枠材は大多数が焼却処分)で本製品の原料になる。現在、環境省大臣官房産業廃棄物・リサイクル対策部の指導を頂き広域認定制度の活用を目標に進めているが、本製品の使用量増加により原料として有価物回収が将来可能である。又、ダイオキシン類、有害大気汚染優先取り組み22項目未使用の為、人類にとっても安全に配慮され製造された製品である。	再生材料を使用していない型枠	EQ(C)	○本品目については、統成品目「再生材料を用いた型枠」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・転用回数、回収方法、再リサイクル性について十分な検討がなされていないため ②品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ・比較対象品と同等の施工性が十分に確保される保証がないため ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
衛生器具	省電力型浄化槽	FRPを原料とする。回転成形法、ハンドレイアップ法で製造される。一般的には地中に埋めて使う。数十年間使えるので廃棄することはまれであるが、廃棄時は掘り起こして処分する。	一般的な工場生産型浄化槽	E(C)	○本品目については、統成品目「衛生器具」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①通常品との比較において、判断の基準を設定することが難しいと判断しました。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
再生樹脂を用いた透水マット	ニードルフェース、ニードルドレン、ジオストリーム	ポリエチレン・ポリプロピレン等の再生樹脂を用いて、立体網状フィラメント、不織布フィルター、排水パイプを製造し組み合わせたものであり、公園・グラウンド・ゴルフ場及び土地造成・道路工事・トンネル工事における一般地下排水(暗渠排水)に使用される透水マット	パーজন樹脂製透水マット	E(C)	○本品目については、統成品目「再生樹脂を用いた透水マット」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・提案品目(再生材)への転換が進んでいると考えられ、廃棄物削減効果について継続的な検討が必要 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
園芸資材	再生材料を使用した軽量土壌	当資材は、製紙工場から排出されるペーパースラッジ焼成灰や軽量発泡コンクリートボード、剪定枝等の廃棄物を主要成分として用いたリサイクルの人工軽量土壌で、主に屋上緑化基盤材として利用されるものである。 ヒートアイランド現象の緩和策が急務な現在、軽量土壌の需要は数十万㎡と試算されるが、多くが珪藻土や軽石、バーライトなどの天然資源を利用したものであり、採掘に伴い環境破壊が生じている。再生軽量土壌を用いることで、ヒートアイランド現象緩和の為に屋上緑化において自然環境に負荷を掛けてしまうという矛盾を解消する事が可能となる。	珪藻土焼成物等の天然資源を用いた軽量土壌	E(C)	○本品目については、統成品目「再生プラスチックを利用した建材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。

# 特定調達品目候補群一覧表(資材)

提案品目名及び提案品目の概要は提案資料から抜粋したものです。

統成品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
再生材料を用いた型枠	バルブモールド製化粧型枠	ダンボール古紙を主原料としバルブモールド製法にて製造された化粧型枠。製造工程に高温プレス、ワックス含浸を加えることで製品の硬度和脱型のよさを実現。現在主流である発泡ポリスチレン製化粧型枠と同様の使用方法である。廃棄時は焼却処分、或いは低カロリー燃料用の原料として使用され、サーマルリサイクルされる。	再生材料を使用していない型枠	EQ(C)	○本品目については、統成品目「再生材料を用いた型枠」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・転用回数、回収方法、再リサイクル性について十分な検討がなされていないため ②品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ・比較対象品と同等の施工性が十分に確保される保証がないため ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
モルタル用骨材	セメント混和用軽量骨材	公共建築標準仕様書(建築工事編、平成16年版)の左官工事で規定されている「内壁下塗り用軽量モルタル用の細骨材」の元規定である、「セメント混和用軽量発泡骨材」に、概ね適合した品目で、その骨材の成分は、有機材として、スチレン樹脂発泡粒、エチレン酢酸ビニール樹脂・炭カル発泡粒、塩化ビニール樹脂等となっている。提案品目は、発泡スチロール梱包材など(スチレン樹脂に該当)の端材、ポリウレタンの端材を、定型粒度に粉砕・調整し、定量の容積に袋詰めした再生プラスチックを使用したモルタル用骨材である。	バーজন材から製造された有機質セメント混和用発泡骨材。	ES(C)	○本品目については、統成品目「モルタル用骨材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ②使用の場面で限定されるため、国等の調達見込み量について継続的な検討が必要と考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
生分解性プラスチックを用いたドレーン材	生分解性プラスチックボードドレーン材	植物を原料とした生分解性プラスチックにより、圧密終了後に生分解し無害化する地盤改良工事に用いるドレーン材である。本品目は、芯材・フィルターともに天然のでんぷん(飼料用とうもろこしでんぷん)や糖類などの植物を原料として作られたポリ乳酸樹脂であり、施工後は土中の微生物のはたらきによって生分解され無害化し、圧密沈下完了後には自然に還る素材である。ドレーン材としての要求性能である施工性、透水性および引張強度などはこれまでの化学繊維系のものと同く変わらない。	(化学繊維系)プラスチックボードドレーン材	EQS(C)	○本品目については、統成品目「生分解性プラスチックを用いたドレーン材」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・製造段階でのCO2削減が期待されるが、削減量の見通しが不明確。 ・使用段階でのメタンガス発生懸念が残る。 ②品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ③特定調達品目と指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
石炭灰を用いた地盤材料	石炭灰を利用した地盤材料	石炭火力発電所で副産される石炭灰に水とセメントなどを特殊混合装置を用いて混合・製造することにより、通常の土質材料に対して軽量かつ同等の強度・物理特性および施工性を有し、盛土、構造物の裏込めや埋戻し、河川築堤、土地造成、路床・路盤などの用途に使用するものである。	天然土、天然砂(海砂、山砂)	EQ(C)	○本品目については、統成品目「石炭灰を用いた地盤材料」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・再リサイクル性の確認が必要 ・使用段階における有害物質の溶出可能性の確認が必要 ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
石炭灰気泡混合軽量土	石炭灰を使用した気泡混合軽量土	気泡混合軽量土の原料土として通常使用される砂の全量を石炭火力発電所から発生するフライアッシュに置き換え、土圧軽減や盛土荷重低減を目的とした道路擁壁、橋台背面、急傾斜地盛土などの構造物や、狭小部の充填材として使用するものである。	天然砂(海砂、山砂)または砕砂を用いた気泡混合軽量土	EQ(C)	○本品目については、統成品目「石炭灰気泡混合軽量土」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・再リサイクル性の確認が必要 ・使用段階における有害物質の溶出可能性の確認が必要 ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
再生材料を用いた型枠	再生型枠用ボード(NFボード)	コンクリート型枠用合板の代替品で、プラスチック製ボード。寸法は1800×600×12 一種のみ。木工用ノギリでの切断、ドリルでの穴あけが出来、釘が使えるなど、合板同様の取り扱いで使用できる。主原料は容器梱包リサイクル法に基づき、自治体が一般家庭から分別回収した、使用済プラスチックであり、マテリアルリサイクル製品。使用済みNFボードの最終処分は、製鉄原料の還元材として、ケミカルリサイクルされる。	再生材料を使用していない型枠	EQ(C)	○本品目については、統成品目「再生材料を用いた型枠」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・転用回数、回収方法、再リサイクル性について十分な検討がなされていないため ②品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ・比較対象品と同等の施工性が十分に確保される保証がないため ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。

# 特定調達品目候補群一覧表(資材)

提案品目名及び提案品目の概要は提案資料から抜粋したものです。

統成品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
エコスラグ骨材を用いたコンクリート製品	下水汚泥溶融スラグを用いた耐酸性コンクリート製品	下水汚泥溶融スラグ粉末と水ガラスを主原料とし、骨材を混合した耐酸性コンクリート製品	天然材料を利用したコンクリート製品	EQS(C)	<p>○本品目については、統成品目「エコスラグを用いたコンクリート製品」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造段階におけるCO2排出量についての確認が必要</li> </ul> <p>②品質確保について不確実性が残ると考えられる。</p> <p>③特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>
道路用エコスラグ	下水汚泥溶融スラグを用いたアスファルト混合物	下水汚泥から生成した溶融スラグを骨材として有効利用したアスファルト混合物	天然材料を骨材として使用したアスファルト混合物または路盤材	EQS(C)	<p>○本品目については、統成品目「道路用エコスラグ」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再リサイクル性の確認が必要</li> <li>・長期の環境に対する安全性(特に3倍値基準のみ充足するスラグについて)</li> </ul> <p>②品質確保について不確実性が残ると考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重交通路線に対する長期耐久性が未確認</li> </ul> <p>③特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JISを満足する材料(特に1倍値を満足するスラグ)の安定的生産・供給体制</li> <li>・国で調達する場合の沿道及び地域住民の理解とコンセンサスの形成</li> <li>・鉄分の含有率に起因する景観上の制限</li> </ul> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>
下水汚泥焼却灰混入アスファルト混合物	下水汚泥焼却灰を用いた混入アスファルト混合物	下水汚泥焼却灰から製造したアスファルトフィラーを用いたアスファルト混合物	下水汚泥焼却灰を含まない一般のアスファルト混合物	EQS(C)	<p>○本品目については、統成品目「下水汚泥焼却灰混入アスファルト混合物」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再リサイクル性の確認が必要</li> <li>・使用段階における有害物質の溶出可能性の確認が必要</li> </ul> <p>②品質確保について不確実性が残ると考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料品質に関する基準が未整備</li> <li>・重交通路線に対する長期耐久性が未確認</li> </ul> <p>③特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>
下水汚泥焼却灰を用いたコンクリート製品	下水汚泥焼却灰を用いたコンクリート二次製品	下水汚泥焼却灰を混入させたコンクリート二次製品	下水汚泥焼却灰を含まない一般のコンクリート製品	EQS(C)	<p>○本品目については、統成品目「下水汚泥焼却灰を用いたコンクリート製品」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用段階における重金属の溶出の可能性に関して確認が必要</li> </ul> <p>②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。</p> <p>③特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>
エコスラグ骨材を用いたコンクリート製品	下水汚泥溶融スラグを用いたコンクリート二次製品	下水汚泥溶融スラグを骨材として有効利用したコンクリート二次製品であり、基礎ブロックはガードレール・防護柵・フェンス・安全施設等の柱の基礎として使用され、歩車道境界ブロックは歩車道境界として使用される。	天然材料を利用したコンクリート製品	EQS(C)	<p>○本品目については、統成品目「エコスラグを用いたコンクリート製品」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造段階におけるCO2排出量についての確認が必要</li> </ul> <p>②品質確保について不確実性が残ると考えられる。</p> <p>③特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>

# 特定調達品目候補群一覧表(資材)

提案品目名及び提案品目の概要は提案資料から抜粋したものです。

統成品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
再生材料を用いた型枠	再生材料を使用した樹脂型枠工法	リサイクル可能な樹脂製型枠であること	再生材料を使用していない型枠	EQ(C)	<p>○本品目については、統成品目「再生材料を用いた型枠」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転回回数、回収方法、再リサイクル性について十分な検討がなされていないため</li> </ul> <p>②品質確保について不確実性が残ると考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較対象品と同等の施工性が十分に確保される保証がないため</li> </ul> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>
道路用エコスラグ	道路用溶融スラグ骨材	一般廃棄物や下水汚泥等を溶融炉で処理する際に副産物として生成される溶融スラグを水等によって急冷又は徐冷して固化した道路用骨材	天然材料を骨材として使用したアスファルト混合物または路盤材	EQS(C)	<p>○本品目については、統成品目「道路用エコスラグ」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再リサイクル性の確認が必要</li> <li>・長期の環境に対する安全性(特に3倍値基準のみ充足するスラグについて)</li> </ul> <p>②品質確保について不確実性が残ると考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重交通路線に対する長期耐久性が未確認</li> </ul> <p>③特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JISを満足する材料(特に1倍値を満足するスラグ)の安定的生産・供給体制</li> <li>・国で調達する場合の沿道及び地域住民の理解とコンセンサスの形成</li> <li>・鉄分の含有率に起因する景観上の制限</li> </ul> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>
道路用エコスラグ	溶融スラグ使用加熱アスファルト混合物	一般廃棄物や下水汚泥等からの溶融スラグを破砕・分級し、粗骨材および細骨材の一部として用いたアスファルト混合物	天然材料を骨材として使用したアスファルト混合物または路盤材	EQS(C)	<p>○本品目については、統成品目「道路用エコスラグ」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再リサイクル性の確認が必要</li> <li>・長期の環境に対する安全性(特に3倍値基準のみ充足するスラグについて)</li> </ul> <p>②品質確保について不確実性が残ると考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重交通路線に対する長期耐久性が未確認</li> </ul> <p>③特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JISを満足する材料(特に1倍値を満足するスラグ)の安定的生産・供給体制</li> <li>・国で調達する場合の沿道及び地域住民の理解とコンセンサスの形成</li> <li>・鉄分の含有率に起因する景観上の制限</li> </ul> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>
道路用エコスラグ	溶融スラグ混入路盤材	一般廃棄物や下水汚泥等を溶融炉で処理する際に副産物として生成される溶融スラグを水等によって急冷又は徐冷して固化した骨材を使用した路盤材	天然材料を骨材として使用したアスファルト混合物または路盤材	EQS(C)	<p>○本品目については、統成品目「道路用エコスラグ」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再リサイクル性の確認が必要</li> <li>・長期の環境に対する安全性(特に3倍値基準のみ充足するスラグについて)</li> </ul> <p>②品質確保について不確実性が残ると考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重交通路線に対する長期耐久性が未確認</li> </ul> <p>③特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JISを満足する材料(特に1倍値を満足するスラグ)の安定的生産・供給体制</li> <li>・国で調達する場合の沿道及び地域住民の理解とコンセンサスの形成</li> <li>・鉄分の含有率に起因する景観上の制限</li> </ul> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>
エコスラグ骨材を用いたコンクリート製品	再生材使用ブロック	一般廃棄物や下水汚泥等を溶融炉で処理する際に副産物として生成される溶融スラグを水等によって急冷又は徐冷して固化した骨材を使用したコンクリートブロック	天然材料を利用したコンクリート製品	EQS(C)	<p>○本品目については、統成品目「エコスラグを用いたコンクリート製品」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造段階におけるCO2排出量についての確認が必要</li> </ul> <p>②品質確保について不確実性が残ると考えられる。</p> <p>③特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>

# 特定調達品目候補群一覧表(資材)

提案品目名及び提案品目の概要は提案資料から抜粋したものです。

統成品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
低溶剤型エポキシ樹脂塗料	低溶剤形エポキシ樹脂塗料下塗り	溶剤成分(VOC)の配合量が25%以下(混合塗料中の加熱残分が75%以上)の鉄構造物及び建築などの金属部に用いる低溶剤形エポキシ樹脂塗料下塗り。	エポキシ樹脂塗料	EQC	<p>○本品目については、統成品目「低溶剤型エポキシ樹脂塗料」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設段階におけるVOC削減による環境負荷低減効果が不明確</li> </ul> <p>②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。</p> <p>③比較対象品と比べてコストが高いと考えられる。</p>
道路用エコスラグ	(名称なし)	都市ごみを溶融処理する際に発生する溶融スラグを道路用アスファルト混合物の骨材の一部として使用した製品であり、通常の道路用アスファルト混合物と同等に使用できる。従来より道路用アスファルト混合物に鉄鋼スラグを利用しており、昭和50年代からはJIS化やアスファルト舗装要綱にも織り込まれている。ごみ溶融スラグをアスファルト混合物の骨材として有効利用する取組みは平成7年より岩手県釜石市、日本舗道、新日本製鐵との共同研究により、数箇所の試験施工および追跡調査を経て平成10年度より実用化に至っている。	天然材料を骨材として使用したアスファルト混合物または路盤材	EQS(C)	<p>○本品目については、統成品目「道路用エコスラグ」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再リサイクル性の確認が必要</li> <li>・長期の環境に対する安全性(特に3倍値基準のみ充足するスラグについて)</li> </ul> <p>②品質確保について不確実性が残ると考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重交通路線に対する長期耐久性が未確認</li> </ul> <p>③特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JISを満足する材料(特に1倍値を満足するスラグ)の安定的生産・供給体制</li> <li>・国で調達する場合の沿道及び地域住民の理解とコンセンサスの形成</li> <li>・鉄分の含有率に起因する景観上の制限</li> </ul> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>
畳(たたみ)	エコ畳「再生材料を使用した稲わら畳及び稲わらサンドイッチ畳」	「建設リサイクル法」に則り、廃棄物(古畳)を抑制するために、使用済みの古畳を回収し、解体・分別及び加熱処理し再資源化した稲わら畳と、稲わらと発泡ポリスチレンフォーム板を組み合わせた畳。エコマーク認定品。	従来どおりの畳工事「A種」「B種」及び「C種」に定める畳。	ES(C)	<p>○本品目については、統成品目「畳(たたみ)」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物削減量の見通しが不明確</li> <li>・再リサイクル性の確認が必要</li> <li>・使用段階における有害物質の溶出可能性の確認が必要</li> </ul> <p>②特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>
建設汚泥再生路盤材	建設汚泥を高度安定処理により再生した骨材(再生骨材)等	建設汚泥を高度安定処理し、所定期間常温で養生、破砕機と篩い機により所定の粒度に加工し、道路用下層路盤材、駐車場やグラウンドの路盤材、地盤改良用サンドコンパクションパイル材等として使用実績がある。本技術では建設工事から排出される建設汚泥をほぼ100%再生でき、再生後は再泥化することがなく、軽量、高強度で吸水性がある。	採取した天然のクラッシュラン及び再生クラッシュラン	ES(C)	<p>○本品目については、統成品目「建設汚泥再生路盤材」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造段階におけるCO2排出量についての確認が必要</li> </ul> <p>②特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>
廃木材発酵緑化基盤材	ハーモニーソイル ハーモニーパーク	法面緑化材は多種多様生産され使用されているが、家屋解体工事から出る木質廃材を再生処理施設に搬入し、人力分別・1次破砕・2次破砕・磁選機2台、ふるい機を経て選別したものを発酵させ、法面緑化基盤材にリサイクル化する。木質のリサイクル施設であれば選別、品質の確認をおこなえば、全国どこでも可能、価格的にも安く出来る。	建築解体工事以外からリサイクルされる木質廃材を用いた緑化基盤材	EQS(C)	<p>○本品目については、統成品目「廃木材発酵緑化基盤材」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発酵過程で発生するメタンガスの影響について確認が必要</li> <li>・CCA処理木材の分別状況の確認が必要</li> </ul> <p>②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。</p> <p>③特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>
廃木材炭化緑化基盤材	炭パワーソイル	産業廃棄物である建設廃材・間伐材等をチップ化。700~750℃にて炭化。水にて簡易賦活した高多孔質の炭をパーク堆肥、ピートモス、牛糞堆肥と混合し、緑化基盤材として使用する。	建築解体工事以外からリサイクルされる木質廃材を用いた緑化基盤材	EQS(C)	<p>○本品目については、統成品目「廃木材炭化緑化基盤材」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CCA処理木材の分別状況の確認が必要</li> </ul> <p>②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。</p> <p>③特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>

# 特定調達品目候補群一覧表(資材)

提案品目名及び提案品目の概要は提案資料から抜粋したものです。

統成品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
既成調合モルタル	既成調合モルタル(タイル工専用)	既製調合モルタルとは、セメント・細骨材・混和剤等を予め工場において所定の割合に配合して製造した建築資材です。既製調合モルタルは昭和30年代から普及がはじまり、時代とともに品質規格も整備され、1998年には、公共建築協会で建築資材評価名簿に記載され、今日では建築現場の必需品となっています。当社では、この既製調合モルタル(タイル工専用)の主原料として使用する細骨材(天然珪砂等)を高炉水砕スラグ砂(製鉄副産物)に100%代替する技術(天然砂同等品細骨材)を確立し商品化を実現しました。この提案製品は建築資材から二酸化炭素の削減を支援できる製品であり、品質面、コスト面においても判断資料が準備できましたので提案いたします。	天然珪砂等の細骨材を使用している既製調合モルタル(タイル工専用)	E(C)	○本品目については、統成品目「既成調合モルタル」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
既成調合モルタル	既成調合目地材	既製調合モルタルとは、セメント・細骨材・混和剤等を予め工場において所定の割合に配合して製造された建築資材です。既調合モルタルは昭和30年代から普及がはじまり、時代とともに品質規格も整備され、1998年には、公共建築協会で建築資材評価名簿に記載され、今日では建築分野の必需品となっています。当社では、この既製調合目地材の主原料として使用する細骨材(天然珪砂等)を高炉水砕スラグ砂(製鉄副産物)に100%代替する技術(天然砂同等品細骨材)を確立し商品化を実現しました。この提案製品は建築資材から二酸化炭素の削減を支援できる製品であり、品質面、コスト面においても判断資料が準備できましたので提案いたします。	天然珪砂等の細骨材を使用している既製調合モルタル(タイル工専用)	E(C)	○本品目については、統成品目「既成調合モルタル」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
再生プラスチックを用いた中央分離帯ブロック	再生樹脂製中央分離帯ブロック	・廃プラスチックからポリエチレンを主として取り出した原料を使う ・上記の原料を90%以上使用する ・必要に応じて脱着できる構造である ・取り外した後再使用が可能である	パーজন樹脂製中央分離帯ブロック	ES(C)	○本品目については、統成品目「再生プラスチックを用いた中央分離帯ブロック」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・再リサイクル性の確認が必要 ②使用の場が限定されるため、国等の調達見込み量について継続的な検討が必要と考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
廃棄物を利用した軽量土工材料	人工軽量骨材	主原料の膨張性頁岩に産業廃棄物(汚泥、燃え殻)を混合し、造粒後1,150℃で焼成・発泡させたりサイクル型人工軽量骨材。各種サイズがあり、覆蓋の上部利用においては排水層、土壌改良材、マルテンング材、管理道路の路床に利用できる。また、締め固め性も良好なので擁壁の裏込め、軽量盛土材にも適している。	廃棄物を用いない一般の軽量土工材料	EQS(C)	○本品目については、統成品目「廃棄物を利用した軽量土工材料」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・廃棄物削減量の見通しが不明確 ・再リサイクル性の確認が必要 ・使用段階における有害物質の溶出可能性の確認が必要 ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ③特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。
フェロニッケルスラグ混入アスファルト混合物	フェロニッケルスラグのアスファルト混合物材	フェロニッケルスラグを製造する際に副産物として精製する溶融スラグを水などによって急冷し粒度調整した骨材を混合したアスファルト混合物	天然材料を用いた通常の加熱アスファルト混合物	EQS(C)	○本品目については、統成品目「フェロニッケルスラグ混入アスファルト混合物」に該当するものと判断して検討させていただきました。 ○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。 ①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・フェロニッケルスラグは、既にコンクリート用骨材及びケーソン中詰め材として指定されており、本品目を指定することによる環境負荷低減効果が不明確 ②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ③特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 ○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。

# 特定調達品目候補群一覧表(資材)

提案品目名及び提案品目の概要は提案資料から抜粋したものです。

統成品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
フェロニッケルスラグ混入路盤材	フェロニッケルスラグ混入路盤材	フェロニッケルの製錬の際に副産物として生成する溶融スラグを徐冷し、破砕後粒度調整したスラグ骨材	天然碎石・砕砂	EQS(C)	<p>○本品目については、統成品目「フェロニッケルスラグ混入路盤材」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェロニッケルスラグは、既にコンクリート用骨材及びケーソン中詰め材として指定されており、本品目を指定することによる環境負荷低減効果が不明確</li> </ul> <p>②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。</p> <p>③特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>
フェロニッケルスラグを用いた地盤改良材	フェロニッケルスラグ埋め戻し材	フェロニッケルを製造する際に副産物として生成する溶融スラグを水などによって急冷し粒度調整した骨材を埋戻し材(サンドコンパクション材・軟弱地盤改良材等)の材料として使用する。	天然骨材を用いた地盤改良材	ES(C)	<p>○本品目については、統成品目「地盤改良用フェロニッケルスラグ」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造段階でのCO2削減が期待されるが、削減量の見通しが不明確。</li> <li>・現状のフェロニッケルスラグのリサイクルフローに対する改善効果が不明確。</li> </ul> <p>②特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>
天然材料を用いた植生マット・シート	間伐材などの低位利用木材を用いた植生マット・シート	近年、地球温暖化問題、適切な水の循環等森林の役割が見直されるようになった。森林の役割を充分发挥するためには間伐は欠かせないが、林業生産活動が停滞し、適切な間伐がされていない森林が増加している。森林の公益的機能を発揮させるためにも、間伐材を有効に活用することによって、間伐を推進することが緊急の課題となっている。本提案品目は上述の課題に対し、間伐材を植生マット・シートに有効活用することにより、森林を守り、かつ法面の緑化保護を可能にしたものである。	天然材料を使用しない植生マット・シート	EQ(C)	<p>○本品目については、統成品目「天然材料を用いた植生マット・シート」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運搬段階におけるCO2排出量についての確認が必要</li> </ul> <p>②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。</p> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>
天然材料を用いた植生マット・シート	腐食性材料を用いた植生マット・シート	構成材料全てが腐食性材料(天然素材や生分解性プラスチックなど)を使用した植生マット・シートである。	天然材料を使用しない植生マット・シート	EQ(C)	<p>○本品目については、統成品目「天然材料を用いた植生マット・シート」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運搬段階におけるCO2排出量についての確認が必要</li> </ul> <p>②JIS・JAS等の公的基準に適合していないなど、品質確保について不確実性が残ると考えられる。</p> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>
変圧器	省エネルギー型変圧器	変圧器は既にグリーン購入法の対象となっているが、その「判断の基準」は、省エネ法のトッランナー基準と同一内容である。2005年4月に当該トッランナー基準がJIS化された。さらに、2006年4月から変圧器市場の大半(8割以上)を占める油入り変圧器ではトッランナー基準を満たさないものは事実上製造販売できなくなっている。又、残りの2割弱の市場を占めるモールド変圧器でも2007年4月からトッランナー基準を満たさないものは事実上製造販売できなくなる。一方、市場では既に主要メーカーが、トッランナー基準を大幅に上回る効率を持つ新しい「省エネルギー型」の変圧器の一群を登場させており、これらが変圧器の省エネ化をリードしている。よって、官が民に率先して省エネ化をリードする製品を調達するというグリーン購入法の趣旨に沿って、変圧器の「判断の基準」を、これらの「省エネルギー型変圧器」を対象とする内容に改めるよう提案します。	トッランナー標準変圧器(現行のトッランナー基準を最低標準レベルで満足している変圧器。)	E(C)	<p>○本品目については、統成品目「変圧器」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①通常品との比較において、判断の基準を設定することが難しいと判断しました。</p> <p>○上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>

# 特定調達品目候補群一覧表(資材)

提案品目名及び提案品目の概要は提案資料から抜粋したものです。

統合品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
製材等	製材	わが国は、60年余にわたり営々と森林資源の整備に努力しておかげで、緑豊かな国土の建設をはたし、木材資源の充実を実現した。しかし、その木材資源が必ずしも有効に利用されていない現実がある。木材は自然素材として環境・健康にフレンドリーで、建築資材としては、材料比重当たり強度のコストが最も安価で、材料製造における熱効率のいい素材である。木材の有効活用が温暖化防止に大きな効果があることは、京都議定書の認めるところである。	天然林の非計画的伐採材	S(O)	<p>○本品目については、統合品目「製材等」に該当するものと判断して検討させていただきました。</p> <p>○検討の結果、以下の理由により次回以降の特定調達品目の候補として継続的に検討させていただくこととしました。</p> <p>①供給体制が十分か継続的な検討が必要と考えられる。</p> <p>○上記課題を解決した後、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。</p>